

【1】 次の文章は、魚が鏡を見て自分を認識できるかどうかについて、熱帯魚のホンソメワケベラを用いて実験したことを書いたものである。読んで、設問に答えなさい。

ともかく、ホンソメの鏡に対する反応はチンパンジーと似ていることがわかってきた。

チンパンジーの鏡像実験では、鏡の提示後10日ほどしてからマークテストがなされた。チンパンジーでは、匂いも触覚的な刺激もないマークをした。マークをされた個体はマークに気づかず、擦ろうともしないが、鏡を見せると鏡を覗き込み、指で額^③のマークを触る。触った指を自分で見て確かめたり、指先を鼻に近づけ、その匂いまで嗅いだりもする。チンパンジーには手と指があり、これだけで自己指向行動が行える。

では、手も指もない魚にマークを触る行動がとれるのだろうか？ 一見難しそうだが、意外と簡単にこれもクリアできた。魚は痒みや痛みなどを感じると、そこを物に擦り付けて掻く。ホンソメも体側をよく砂や石に擦り付けると、これは水槽の中でもよくやる。痒くなくても、体についた嫌なものを取り去りたい場合、水槽の石や底で擦ると期待できる。指や手を使わなくても、体のマークを擦り付けてくれれば、それは自己指向行動になるわけだ。

魚の体のどこにマークをするかも問題だ。本人が直接マークを見られる場所ではない。鏡を使つてはじめて見える場所でないといけない。魚の場合、確実なのはやはり、額、喉、腹の下であろうか。しかし、額の薄い皮膚の下は骨なので、マークをしにくそうだ。その点、柔らかい喉や腹はまだまだ。それに、マークは気がついたら擦ってもらわれないといけないので、できるだけ擦りやすそうところがよい。魚にとって額は① 擦りにくそうだが、喉や腹の下なら、まだ擦りやすいだろう。

では喉と腹の下ではどちらがいいだろうか。ホンソメは普段から腹部を擦る

ことがあるが、喉を擦るのは見たことがない。これも良い特徴である。鏡で喉の「寄生虫」を見て、はじめて喉を擦ったのなら、鏡像自己認知をしている決定的に強い証拠になる。寄生虫そっくりでかつ触覚刺激のないマークを喉につけ、このマークを鏡で見せたときだけ擦ってくれば、ホンソメのマークテストは合格である。

マークには、視覚刺激以外の匂いや触感の刺激があつてはいけない。もし、マークに匂いや痒みが「モナエ」は、マークを触ったとしても、鏡がなくても③ a や ③ b でわかつた可能性が残るからだ。だから、鏡を見せる前の段階では、対象動物はマークに触らないことが前提条件として必要になる。ここでは、魚のヒョウシキに使われているイラストマーを使った。きちんと皮下に注射すれば、魚の行動には影響はないことがいくつもの論文で報告されている。これを使って、寄生虫に似た茶色のマークをすればよさそうだ。(中略)

チンパンジーの場合と同様に、すべての個体で麻酔をしてからマークをした。彼らは野外では夜間、岩陰やサンゴの隙間などで寝ている。水槽では、中に入れた10cmほどの長さのパイプに入つて寝る。パイプに入つて寝ているホンソメを捕まえるのは簡単だ。網でパイプごとすくいとり、麻酔液の入った容器にパイプごと沈める。1分ほど沈めて取り出すと、すっかり麻酔されている。それを取り出し、素早くサイズをハカリ、イラストマーを注射する。終わったら、パイプと一緒に実験水槽にもどす。その前に水槽の鏡は白いアクリル板で覆つておく。魚が翌朝目覚めたとき、鏡はまだない状態である。

最初は、対照実験として透明色素を注射した。色素以外の手順は茶色のマークのときとまったく同じであるが、④ は見えない。翌朝、いつもどおり元気に泳いでいることを確認し、鏡を見せてビデオ撮影の開始である。

⑤ a、注射による痛みや痒みなどの違和感があれば、マークが見えていなくてもホンソメは喉を擦るだろう。我々の予想はもちろん「喉を擦らない」である。

その後、同じホンソメにまた麻酔をして、寄生虫に似せた茶色のマークをする。マークをしても鏡を隠しておく、喉についている茶色のマークは本人には見えない。触覚刺激がないなら、鏡がなければ「喉を擦らない」と予想される。しばらく後で、鏡を覆う白板を外し、鏡を提示する。このときにはじめて「喉を擦る」という反応を示してくれたら、マークテストに見事に合格である。

さて、結果はどうか。喉へのマークテストは4個体で行った。3つの対照実験を行っている。まず、マークを注射する前には、この4個体は喉を擦ることはまったくなかった(対照実験1)。そしてさらなる対照実験として透明な液を喉に注射した場合も、喉を擦ることはなかった(対照実験2)。このことは麻酔したり、注射したりすることやマークそのものが触覚的な刺激になって喉を擦るのではないこと、マークの注射が痒みや痛みをもたらすことはないことを示している。そして、いよいよ茶色の寄生虫⑥ ながらのマークを喉につける(対照実験3)。鏡がない場合は、予想どおり4個体のいずれも喉を擦らなかった。⑤ b、色素を注射されていても、それが見えないとマークの存在がわからず擦らないのだ。

そして本番は、鏡を覆っていた白板を取り去つてからである。ここでホンソメが喉を擦ってくれば、マークテスト合格である。

茶色マークを喉に注射し、鏡を見せたビデオをいよいよカイセキする。鏡の前の白いアクリル板を外してしばらくすると、ホンソメは鏡で喉を見てから、砂底に舞い降りて、ぎこちなくではあるが、なんと喉を砂で擦つたのである！

そのビデオを最初に見た瞬間は、あまりのショウゲキに「オーっ」と叫んだ。ほんとうに椅子から転げ落ちそうになった。こんな喉擦り行動はホンソメでも他の魚類でも見たことがない。⑤ c いかにも、喉の寄生虫を水槽の底の砂で擦り落とそうとするように見える。この動きは他の個体でも確認できた。4個体のうち、3匹がそれぞれ16回、10回、6回、喉を砂底で擦つたので

ある。残りの1匹は擦らなかつた。もう一度言うが、擦つた3匹は鏡がないときは誰も茶色マークをまったく擦らなかつたのである。鏡を見せたときだけマークを擦つたのだ。この結果は、ホンソメはマークテストに合格していることを見事に示している！ 魚類で⑦ がはじめて示されたのである。

幸田正典「魚にも自分がある——動物認知研究の最先端——(二〇二二年、ちくま新書)より。出題のため、一部表記を改めた。

問一 空欄①に入る最適な語を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア いかにも
- イ 比較的
- ウ いささか
- エ 全く
- オ わずかに

問二 傍線部②のここでの意味として最適なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ホンソメにとって飼育環境が良い
- イ ホンソメには高い知力がある
- ウ 鏡像実験にとつて都合が良い
- エ ホンソメには珍しい能力がある
- オ ホンソメにとって自己指向行動がしやすい

問三 空欄③ a、③ bに入る最適な語をそれぞれ漢字二文字で書きなさい。

問四 空欄④に入る最適な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 鏡の中の自分
イ 仲間の個体
ウ 鏡
エ マークの跡
オ アクリル板

問五 空欄⑤a、⑤b、⑤cに入る最適な語の組み合わせを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア a もし b やはり c しかも
イ a もし b しかも c やはり
ウ a やはり b しかも c もし
エ a しかも b やはり c もし
オ a やはり b もし c しかも

問六 傍線部⑥と同じ意味の語を本文中から四文字で抜き出して答えなさい。

問七 空欄⑦に入る最適な語を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 鏡像自己認知
イ 自己指向行動
ウ マークテスト
エ 対照実験
オ 喉擦り行動

問八 この文章の中で述べられていることとして当てはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア チンパンジーは、自分の指を見たり匂いを嗅いだりして、自分が自分であることを確認する。
イ ホンソメの鏡像実験では、4個体の腹部にマークをつけて対照実験を行った。
ウ ホンソメは、3つの対照実験で鏡像自己認知を証明する前提条件を満たした。
エ ホンソメにマークを触らせないためには、皮下に注射する必要がある。
オ マークテストでは、「マークなし」「擬似マーク」「茶色マーク」の合計3回の実験を行った。

問九 二重傍線部ア、イ、ウ、カ、クの読み、エ、オ、キ、ケ、コの漢字を答えなさい。

【二】 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

「哲学とは型である」と言うと、驚く人もいるでしょう。哲学に必要なものは、ものを違った角度から見ると、驚く人もいるでしょう。哲学に必要なものは、答えにたどりつく才能ではないか、と思う人もいるかもしれません。こうした哲学の理解自体正確なものではないと私は考えますが、それはさておき、フランスの哲学教育が「型」の学習であるのはなぜなのでしょうか。

〈A〉まず注意すべきなのは、フランスの高校での哲学教育が、知識や学問としての哲学を習得させることを目的としていない、ということです。哲学教育の目的は、権威を嚙呑みにせず自分で考え、発言し、行動することができる「市民」を育てることです。そのため的手段が哲学です。哲学の歴史やさまざまな哲学者の主張を理解すること、覚えることではなく、そこでどのような思考の方法が使われており、どのようにそれを使うことができるか、を知ることが重要なのです。

〈B〉「思考の型」は、そうした「市民」が身につけているべき、思考し、表現する①の基礎となるものです。それは哲学という、西洋が歴史的に複雑な思考の「型」としてきた知を題材として、自分で考え、表現することのできる人間を育てることを目指すものです。

〈C〉しかし、自分で考え表現することと、「型」を身につけることは矛盾しているように思えるかもしれません。「型にはまった考え」というのは、杓子定規で、②とは正反対の意見を指すというの一般的な理解でしょう。それでもなお、「型」が重要であるとはどういうことでしょうか？

〈D〉「型にはまった考え」は、たとえば「男は外で働き、女は家を守る」のようなキョウタイ依然とした考え方を指しますが、そこで問題になっているのは考えの「中身」が金太郎飴のようにカクイツ的であるということです。

〈E〉それに対して、フランスの哲学教育やバカロレア哲学試験で身につけ

ることが目指されている「思考の型」は、さまざまな意見を表現するための共通のフォーマットです。つまり、「中身」ではなく「形式」あるいは「ルール」が同じなのです。その「形式」に従って議論し、自分の立場を表明することができるようになることが目的とされます。では、さまざまな意見を共通の「型」に従って表現することには、どのような利点があるのでしょうか？

さまざまな意見が、さまざまな形式で表明される場合、それに接する人は、その内容だけでなく、それがどのように表現されているかという形式も理解しなければなりません。もしその形式が自分にとってなじみのないものであれば、内容を理解することはより困難になります。たとえば、官僚作文と揶揄されることも多いお役所の文章などは、その独特の表現に慣れ、文章が本当に言いたいことを理解するまでには相当④が折れます（誤解を招かない表現にする）と複雑になるといふことや、あるいはわざとわかりにくく書いている、ということもあるかもしれません。

もしそうした意見が、誰もが知っていて使いこなすことのできる共通の「型」に従って表現されていたらどうでしょうか。その「型」を知っている人にとっては、どの部分がどのような役割をしているか、そしてその「型」に従って述べられている主張は何かということ、意見の内容がどうであれ、かなりわかりやすくなるはずですよ。

その場合、問題となるのは「型」を知っている人、身につけている人をどのように増やせばいいか、ということです。多くの人が共通理解として「型」を身につけていれば、意見を表明する時にも、その意見を理解する時にも、その「型」を使うことになります。

結果としてそれは多様な意見を理解し、時には同意し、時には反論するよう健全な意見表明の場を生み出すことになるでしょう。そのような意見表明を行なうための能力を持った人々を「市民」と呼ぶことができるでしょう。

そうした討議の場は民主主義的な社会にとって不可欠です。問題はこのよう

な「型」を身につけた人をどうやって増やすのか、ということです。その解決策として、フランスは哲学教育を行なっているのです。

※ バカロレア試験——フランスの高校卒業資格を得るためのバカロレア試験に含まれる科目の一つ。

坂本尚志「バカロレアの哲学——「思考の型」で自ら考え、書く」(二〇一三年、日本実業出版社)より。出題のため、一部表記を改めた。

問一 空欄①に入る最適な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 答案
- イ 感性
- ウ 個性
- エ 知識
- オ 作法

問二 空欄②に入る最適な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 独創性や創造性
- イ 意見や感想
- ウ 内容や形式
- エ 基礎や応用
- オ 柔軟性や弾力性

問三 傍線部③について、どのような利点があるのか、五十文字以内で説明しなさい。

問四 空欄④に入る最適な漢字一字を書きなさい。

問五 本文中の(Ａ)から(Ｅ)のいずれかに次の文が入る。最適な箇所を一つ選び、記号で答えなさい。

実は「思考の型」と「型にはまった考え」の「型」は違うものなのです。

- ア A
- イ B
- ウ C
- エ D
- オ E

問六 この文章の中で述べられていることとして当てはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 哲学に必要なのは、自由な発想を通じて新しい視点から物事を見つめたり、独創的な考え方を生み出したりすることである。
- イ フランスの高校の哲学教育は、歴史上の様々な哲学者の思想を、権威のある解釈に基づいてできるだけ正確に理解することを重視している。
- ウ 「型」にはまった考え」というのは、考えの内容自体に新奇性がないということとは異なる。
- エ 民主主義的な社会を構成する「市民」を増やすために、フランスの高校では哲学教育を行っている。
- オ 民主主義的な社会にとって、市民が歴史上の哲学者の思想を理解しておくことは不可欠である。

問七 二重傍線部ア、イ、ウ、カを読み、エ、オの漢字を答えなさい。

【三】 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

電話やメール、インターネットなどのメディアのなかで、もっとも古くからあるのは一八七六年にアレクサンダー・グラハム・ベルによって発明された電話である。

日本では一八九〇年に電話事業が始まるが、第二次世界大戦期まではあまり普及せず、戦後も一九六〇年代までは業務用の利用が圧倒的で一般家庭での利用は広まらなかった。たとえば、ジブリ映画『となりのトトロ』は一九五〇年代前半の東京都下をブライとした作品であるが、母親が入院する病院から電報が届き、父親の勤務先に電話するため、村で「本家」と呼ばれる家で主人公のサツキが電話を借りる場面が出てくる。高度成長期までは一般家庭で電話があるのは村で一軒ということは珍しくなく、名家や特別裕福な家、あるいは商売上必要がある家などごく限られていた。

高度成長期を迎え一般家庭に電話が普及していくことで、遠く離れたところにいる人とも簡単に気軽に連絡が取れるようになる。お互いの家庭に電話があるようになって初めて、日常的なコミュニケーション手段として電話が使われるようになったと考えるべきであろう。『となりのトトロ』のような状況ではごく限られた緊急事態にしか電話は使えない。

① 日常的に電話が利用されるようになる、人と人との関係性も変容していく。電話の普及は情報伝達を速めただけではないのだ。

アメリカの社会学者シドニー・アロンソンは「サイコロジカル・ネイバーフッド(心理的近隣 psychological neighborhood)」とこの言葉を用いて、電話でつながる関係性を捉えている。それは、住居という物理的範囲に制限されることなく形成される親密な社会的ネットワークで、人間の魅力や共通の関心に基づいて形成されるものである。

「②」とは物理的な近接性の重要性を取り上げたことわざであるが、

「③」は「近くの他人より遠くの親しい人」という状況をもたらしたのだ。他にも多くの論者が、電話により空間を超えたコミュニケーションが可能となることで、地縁や血縁とは異なる地理的にカクサンした新しい関係性が生じ、重視されるようになっていったとシテキしている。

ただし、サイコロジカル・ネイバーフッドは単純に地縁や血縁を超えた関係性ではない。ケータイが日本で普及しつつあった一九九〇年代後半、言い換えれば、家庭の固定電話利用のほがまだ多かった頃の調査データをもとに、サイコロジカル・ネイバーフッドの実態を検討した社会学者の中村功によれば、第一に電話は基本的には比較的近距离のコミュニケーションに利用されており、第二に電話で話す相手は電話だけでつきあっているのではなく、むしろ電話の人間関係は基本的には対面接触によって作られた人間関係に沿って発生し、それらを③することが多いという(「電話と人間関係」)。

電話は日常的に顔を合わせることのできる人との連絡にもっとも多く使われる。親しい相手とは「電話で済ませる」のではなく、電話で約束を取り付けて直接顔も合わせるのだ。親しい人とは対面だけ、電話だけではなく、対面でも電話でもやりとりするのである。もちろん、遠くに住む家族や親戚とはなかなか会えないがゆえに、電話で話をする。さらに、かつてなら「去る者は日々に疎し」直接会うことが難しくなった友人とは、いつの間にか自然と関係性が薄れていったのだが、お互いに関係性を維持しようとする意思さえあれば、電話により維持可能である。

ちなみに、電話やメールを使うようになると対面で話をしなくなるとのソクセツがあるが、多くの調査データが示すのは逆方向、つまり、④傾向にある。

電話というメディア自体は、個人が特定されなまま、顔や姿を隠してコミュニケーションすることもできるメディアである。適当な番号に電話をかけることで、見知らぬ相手とつながることができる。それを悪用したのがイタズ

ラ電話や振り込め詐欺であらうし、逆に一九七一年に始まった「いのちの電話」をはじめとした電話相談窓口は匿名のまま、自分の姿や顔をさらすことなく相談できることから一定の支持を集め続けている。

ただ、電話の中心な使い方はまったくの新しい関係性の構築というよりむしろ、つながりたい相手とつながることだ。電話によって、つながりを維持したい相手とは、物理的な距離に関係なく、つながりを維持しやすくなったのである。

かつて筆者は、若者たちのあいだにケータイが普及する一九九〇年代後半、ケータイでつながる若者の友人関係が「浅い」と評されることが多かったのに対し、選択的人际关系の広まりとして捉えることを主張した(「若者の友人関係と携帯電話利用」)。

ここでいう選択的人际关系とは、地縁や血縁、学校や職場を基盤とした関係のように選べない関係性、あるいはその関係からの離脱が容易ではない関係性ではなく、お互いに相手とつきあうかどうかを自由に選び選べれ合うような関係性を指す。ケータイを駆使することで若者たちはお互いに選び選べれ合う関係性を維持・管理していると考えたのである。

個人が所有し、常に身につけているケータイは、家庭で共有される電話以上に、個人と個人が直接的につながるのである。会議中や睡眠中など電話に出られない状況はあるものの、ケータイには「留守」がない。加えて、家庭の電話のように誰が電話口に出るか分からないのではなく、基本的にケータイは持ち主本人しか出ることはない。

電話と比べるとケータイは、見知らぬ誰かからかかってくる「可能性」が低いことも重要である。かつて家庭や職場の電話番号は連絡先として公開される傾向にあった。併せて、電話普及当初は「電話がある」ということがステータスであったこともあり、電話番号を電話帳へ掲載するのも普通であった。
⑤a、セールズや勧誘電話への嫌悪感、プライバシー意識の高まりなどを

受けて、一九八〇年代以降、電話帳への掲載を見合わせる一般家庭が増加していく。その後に普及したケータイの場合、電話帳に番号を掲載している人はほとんどいない。

⑤b、一九九三年に始まったケータイのデジタル化により、家庭の一般加入電話より早く九四年頃から、ケータイでは発信番号表示サービスが利用できるようになった。⑤c、一九九〇年代半ばから、とくに若年層ではこの機能を利用し、かかってきた相手を確認してから、応答するかどうか決める使い方が広がっていく。当時、「普通(普通選択)」と若者が名づけたこのようなケータイの使い方は、その後、他の年齢層にも広がり、かかってきたのが誰であるかを確認し、「心の準備」をしてから電話に出ることまでを含めると、「普通」の活用はケータイでは一般的な使い方となった。ケータイ端末のアドレス帳に登録されていない相手からの電話や、発信番号を「非通知」としている電話には出ないと決めている人も少なくない。こうして、ケータイでつながるの

は、基本的にはその持ち主が知っている相手、ケータイ番号を教えた相手となっていた。

このようなかたちで、ケータイは電話以上に自分がコミュニケーションを取りたい相手と直接的につながるために利用されており、その普及によって、偶然居合わせる関係性より、個人がその場で選んだ相手との関係性を優先する傾向が強まっていると考えられることを、選択的人际关系の広がりや捉えたのだ。

ただし、このような選択的關係の広がりはケータイのみがもたらしたものである。ないし、若者だけにあてはまるものでもない。一九七三年から五年ごとにNHK放送文化研究所が行ってきた「日本人の意識」調査によれば、一九七三年からの三五年間にどの世代においても親戚・近隣・職場とのつきあい方として「⑥a」関係」を望む人が減少し、「部分的関係」あるいは「⑥b」関係」を望む人が増加する傾向にある(『現代日本人の意識構造第七版』)。「全

面的な深い人間関係」より「選択的な人間関係」を望む傾向は「今日の若者」特有の現象ではなく、どの世代にもあてはまる現象、時代の経過やそれにともない進行した「都市化」といったより広い文脈で検討すべき現象である。

ゆえに、ケータイが選択的關係の「⑦」なのではなく、都市的ニ選択的な人間関係を望む傾向が強まるなかで、選択的な関係性を築き、維持する上で役立つからこそ、ケータイが普及したのであり、同時に、ケータイの利用によって選択的な関係性を維持しやすくなっていると考えたのである。

松田美佐「うわさとは何か」(二〇一四年、中公新書)より。出題のため、一部表記を改めた。

問一 傍線部①「日常的に電話が利用されるようになると、人と人との関係性も変容していく」とあるが、どのような関係性になったのか。三十文字以内で説明しなさい。

問二 空欄②に入る最適なことわざを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 千里の道も一歩より
- イ 三つ子の魂百まで
- ウ 袖振り合うも多生の縁
- エ 遠くの親戚より近くの他人
- オ 金の切れ目が縁の切れ目

問三 空欄③に入る最適な語を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 拒否
- イ 分離
- ウ 融合
- エ 排除
- オ 補完

問四 空欄④に入る最適な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 通信メディアを多く利用する人ほど対面でのコミュニケーションも少ない
- イ 通信メディアを多く利用する人ほど対面でのコミュニケーションも多い
- ウ 対面でのコミュニケーションが少ない人ほど通信メディアの利用は多い
- エ 通信メディアの利用が少ない人ほど匿名でのコミュニケーションは多くなる
- オ 通信メディアの利用が多い人ほど匿名でのコミュニケーションも多くなる

問五 空欄⑤a、⑤b、⑤cに入る最適な語の組み合わせを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア a しかし b このため c さらに
- イ a しかし b さらに c このため
- ウ a このため b しかし c さらに
- エ a さらに b このため c しかし
- オ a このため b さらに c しかし

問六 空欄⑥a、⑥bに入る最適な語の組み合わせを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア a 形式的 b 全面的
- イ a 全面的 b 形式的
- ウ a 都市的 b 全面的
- エ a 選択的 b 形式的
- オ a 全面的 b 基本的

問七 空欄⑦に入る最適な語を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 結果
- イ 構造
- ウ 模倣
- エ 原因
- オ 主題

問八 この文章の中で述べられていることとして当てはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 各家庭に電話が普及していなかった頃は、電話は親戚縁者との通信手段という位置づけだった。
 - イ 選べない、容易に離脱できない関係性においては、ケータイは相手を縛る道具になってしまう。
 - ウ ケータイが普及した現代においては、むしろ固定電話があるということはステイタスとなった。
 - エ サイコロジカル・ネイバーフッドとは、集団のしがらみから解放された個人と個人の自由な結びつきを指す。
 - オ 日本におけるケータイの普及は、選んだ相手との関係を重視する現代日本人の傾向と関連している。
- 問九 二重傍線部ア、イ、ウ、オの漢字、エ、カ、キ、ク、ケ、コの読みを答えなさい。

【四】 次の設問に答えなさい。

問一 次の二つの語句の関係が、他の組み合わせと異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 濡れ手で粟——虻蜂取らず
- イ 雲泥の差——月とすっぽん
- ウ 青天の霹靂——寝耳に水
- エ 腹を割る——胸襟を開く
- オ 馬脚をあらわす——化けの皮がはがれる

問二 傍線部の語の意味・用法が例文と最も近いものを一つ選び、記号で答えなさい。

例文 彼は一流打者でもある。

- ア この本はいくら読んでも、理解できなかった。
- イ 少し休憩してお茶でも飲もう。
- ウ この植物は、花はきれいでも根に毒がある。
- エ 大阪から東京へは、夜行列車でも行ける。
- オ 休日に出かけることは、面倒でもある。

問三 次の作品のうち作者が他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 『舞姫』
- イ 『明暗』
- ウ 『阿部一族』
- エ 『高瀬舟』
- オ 『山椒大夫』

問四 芥川龍之介が『羅生門』を書く際に題材とした古典作品を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 『伊勢物語』
- イ 『竹取物語』
- ウ 『平家物語』
- エ 『今昔物語集』
- オ 『源氏物語』

問五 次の文の空欄に入る最適なものを一つ選び、記号で答えなさい。

先生は提出されたレポートを と読んだ。

- ア ぴったり
- イ しんしん
- ウ ぐんぐん
- エ まじまじ
- オ じつくり

問六 次の文の空欄に入る語として適当でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

私の友人は私の話を 聞かない。

- ア まったく
- イ ぜんぜん
- ウ しっかり
- エ すっかり
- オ すなおに

問七 敬語の使い方として適当でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 私は明日こそは先生にお目にかかりたい。
- イ 部長の奥村は今、席を外しております。
- ウ 私の父に、山本さんがお会いすると聞いています。
- エ 追加のご注文はありませんか。
- オ お褒めいただき恐縮しております。